

公立高校入試情報 栃木県

【数学】

令和6年度栃木県入試の全体傾向

- 大問数は6問、小問数は28問で、ほぼ例年通り。
- 大問1、2は小問集合、大問3は平面図形(作図、証明を含む)、大問4はデータの活用(箱ひげ図)、確率、大問5は関数、大問6は式の計算の利用の問題であった。
- 大問6は新幹線の座席数とタクシーの台数から修学旅行の参加人数を求める問題。数学の知識だけでなく、情報を読み取る読解力も必要であった。
- 途中の計算を書かせる問題や作図、全文記述の証明問題、式を使って説明する問題は今年も出題されているため、しっかり対策したい。

■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

■ 関数と図形の融合問題の出題

・例年どおり、1次関数や放物線のグラフと図形を融合させた問題が出題された。動点と面積の変化の問題もよく出題されるので、対策が必要である。

★栃木県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●	
		文字と式	●	●	●		
		方程式		●	●	●	
		比例と反比例	●	●	●	●	
		平面図形	●	●	●	●	
		空間図形	●	●	●	●	
		データの分析と活用	●		●	●	
	2年内容	式の計算	●		●	●	
		連立方程式	●	●		●	
		1次関数	●	●	●	●	
		図形の調べ方	●	●		●	
		三角形		●	●		
		平行四辺形	●				
		確率	●	●	●	●	
	データの比較と箱ひげ図		●	●	●		
	3年内容	式の計算	●	●	●	●	
		平方根	●	●		●	
		2次方程式	●	●	●	●	
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●	
		相似な図形	●	●	●		
		円の性質	●	●	●	●	
三平方の定理		●	●	●	●		
標本調査		●					
出題形式別の傾向	大問数		6	6	6	6	
	小問数		30	28	29	28	
	記述問題	図形の証明(説明)		1	1	1	1
		その他の説明・証明など			2	2	1
		立式・解法の過程の記述		3	2	3	3
		作図(図形)		1	1	1	1
作図(グラフ)				1			